



## ごあいさつ

日頃のご支援、ご指導に対しまして心より感謝申し上げます。

本市でも、新型コロナワクチンの接種が、医療従事者に対して先行で始まりしました。しかし、対象者全員への接種を完了するのは、まだまだ先です。新型コロナの年内の収束は見込めないとの見解を示す専門家もあり、感染を防ぐために、マスク着用、手洗い・消毒の励行、3密回避などを継続することが大切です。

私は、3月議会で、コロナ禍における本市の対応や対策、新規学卒者への就職支援及び雇用環境向上への取り組み、本市の除雪体制について質問いたしました。その主な内容をご報告いたします。

これからも、『暮らし最優先-信頼の富山市政』をめざし、皆様のご意見をお伺いしながら取り組んでまいりますので、何卒、よろしくお願いいたします。

コロナ禍における本市の対応  
や対策について

**質問** コロナ禍において、本市の企業、とりわけ地域の中小企業に対し支援を強化し、経営を守ることによって、労働者の雇用を安定させることが求められているが、現在、どのような助成制度があるのか。

**市の答弁** 感染症の影響により離職された方々を正規雇用をした中小企業主に対し、奨励金として賃金の1/2を3カ月交付する「離職者等雇用奨励金事業」、本市の物産品等を取り扱う中小企業者等が新たな販路拡大のために行う物産展等への出展に対し、対象経費の3/4を上限30万円まで交付する「物産展等出店支援事業」の2事業を実施している。

**質問** コロナ禍において本市内で自殺者が急増しており、多くの方が心を痛めている。過去3年間における本市の自殺者の推移と傾向について問う。また、これまで実施してきた自殺予防対策及び今後の方針について問う。

**市の答弁** 本市の自殺者数は2018年が62人、2019年が48人、昨年が暫定値で66人と推移している。

昨年の自殺者数は5月までは前年を下回っていたが、6月以降、月ごとの自殺者数は前年より増えている。傾向については、全国では小中高生の自殺が過去最多となり、女性の自殺者も増加しているが、本市においては中高年の男性の自殺者が前年より倍増しているものの、女性と30歳代未満の若者の自殺者数は前年同数であり、全国の傾向とは異なっている。

本市では、これまで高齢者の自殺が多い傾向にあったことから、理容師などにゲートキーパーになっていただくための養成研修や、メンタルヘルスサポーターなどの人材育成に取り組んできた。そうした中、2016年の自殺対策基本法改正を受けて2019年3月に富山市自殺対策総合戦略を策定し、自殺予防対策事業に取り組んでいる。なお、現在、中高年の男性の自殺者数が増加していることから、富山地域産業保健センターなどの関係機関などとも連携し、相談支援を強化するなど、一人でも多くの方の命が救えるよう引き続き自殺予防対策に取り組む。

**質問** 富山市民病院は、感染症病床を有する第2種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症の対応に多大な役割を果たしてきた。医療

スタッフの皆さんの負担を少しでも軽減するとともに、新型コロナウイルス感染症で入院する患者を含め、一人暮らしの高齢者等が入院する際に必要なものを詰め合わせた「入院セット」を準備すれば、スムーズに入院ができるのではないかと。

**市の答弁** 新型コロナウイルス感染症で入院される場合は、入院までの時間的余裕が少ないことや、入院後は病棟外への移動が原則禁止され、売店での購入ができないことから、日用品の準備に時間を要する場合もあると思われる。また、今後は高齢者だけでなく、入院に必要な日用品の準備に家族の協力を得ることができない患者さんが増えるものとも考えている。こうしたことから市民病院では、患者さんが入院の際にスムーズに日用品が準備できるよう、洗面用具などの日用品をセットにして提供することについて前向きに検討して参りたい。



特別に今年度の新規学卒者も対象に加え、去る3月5日に開催した。本市としては、新規学卒者が市内で就職することは、若者の地元定着を図る上で重要であると考えており、就職先が決まっていない方々は、本市が設置する無料職業紹介所や、夏に開催予定の企業説明会を企業との面談の機会として利用いただきたい。

## Q 本市の除雪体制について

**質問** 本市として地域主導型除雪体制を推進してきた経緯について問う。また、除排雪車のGPS端末を有効に活用すれば、除排雪の進行状況も把握できるはずなので、市民にわかりやすく情報提供できるシステムを構築せよ。

**市の答弁** 市域が広い本市においては、地域により降雪状況が大きく異なり、適切な除雪の出動の判断が難しく、迅速な除雪対応が困難であったことから、これを解消するため、地域の代表者が降雪状況を確認し、直接除雪業者に出動の要請を行う地域主導型除雪を2004年度から導入した。これは小学校区単位で地域の降雪状況に応じて除雪を行うことに加え、優先順位や排雪場所など、その地域の実情に応じたきめ細やかな除雪が行えるという利点があり、現在62地区で実施しており、さらに拡大していきたい。

今後は、関係機関との情報共有を図り、道路パトロールの早期実施や増援により、道路状況や道路除雪状況などの情報収集を迅速に行い、ホームページやSNSなどを活用して市民へわかりやすく情報の提供を行う。そのほか、テレビやラジオによる情報発信についても検討を進めている。



## Q 新規学卒者への就職支援及び雇用環境向上への取組について

**質問** 本市に在住する今年3月の新規学卒者中、就職を希望したものの、まだ就職先が決まっていない人は何人いるのか。また、本市として就職先が決まっていない本市の在住者に対して、どのような支援を行うのか。

**市の答弁** 富山公共職業安定所によると、本年1月末現在、管内の大学、短大、高等専門学校との合計で、就職希望者数2,496人に対し、内定者数が2,327人、内定を受けていない方が169人であり、内定率は93.2%で、前年同期と比べて1.6ポイント下回っている。また、高等学校卒業予定者については、就職希望者数702人に対し内定者数が665人、内定を受けていない方が37人であり、内定率は94.7%で前年同期と比べて2.5ポイント上回っている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で就職活動を思うように行えなかった学生もいたのではないかと考え、例年、次年度の新規学卒者を対象としている春休みの企業説明会において、

～ ご意見・ご要望をお寄せください ～

東あつし自宅：〒930-0864  
富山市羽根990-104  
TEL・FAX(076)422-5010